Ⅲ　中学校・高等学校授業力向上研修講座Ⅱ部（自分の授業の参観・協議）について

私の授業では「人口増加」についての単元を扱った。現状を把握させ、「世界人口を削減するべきか否か」について自分の意見を持たせ、それを伝え合わせる授業を行った。教室内に、新聞記事やインターネットの記事、本、動画などを用意し、自分で選択した方法で情報収集をさせた。様々な手段を用いて情報収集をして、得た情報を他者に適切に伝えること、またそれについて自分の意見を持たせることを目標としたかったのだ。題材も「人口増加」と難しいものであったが、高校３年生だからこそできることに挑戦させたかったので、あえて易しいものは選ばなかった。授業を行った際に心掛けたことは以下の３点である。

①「活動あって学びなし」の授業にはしないこと。

本時の目標を達成するために必要と思われる活動を精選して授業をすることを心掛けた。50分間の授業が終わったときに生徒が「これが分かった」「これができるようになった」と言っている姿をイメージして授業を構成した。

②authentic materials(ネイティヴスピーカーが他のネイティヴスピーカに向けて書いたもの)を使用すること。

前年度参加した研修で、授業の中でauthentic materialsを用いると生徒のモチベーションが上がることを学んだため、それらを積極的に用いた。ただし非常に難易度が高いため、英語に苦手意識のある生徒にとっては逆効果かもしれないと危惧したが、やはり「本物」を理解できた達成感は一入のようであった。

③世界規模の問題について情報収集させ、それについて自分の意見を持たせること。

英語で授業を行おうとすると、生徒が理解しやすい話題や活動させやすい題材を選んでしまいがちになるが、あえて今回は「人口増加」という国際的な問題を扱った。英語を身につけ、世界が抱える問題を解決していくことのできる人材育成を目指してきたつもりなので、今回もこの課題について情報を集め、それについて自分の意見をもち、伝えるという活動を行わせた。

参観していただいて、「高校３年生が扱う題材、授業の内容として適切であり、『英語を学んで終わり』ではなく、それをツールとして世界を知り、それについて自分の意見を持たせているところがよい」「生徒が自分の学習に責任をもっている姿が多く見られ、主体性や学ぶ意欲が感じられる」と指導主事の先生方に言っていただけたのが嬉しかった。しかし一方で、「各々が得た情報をグループに持ち帰り、それについて再度議論をすることで学びが深まるのではないか」「教材を読み取ることに苦労している生徒もいたので、パラフレーズしたりヒントを与えたりしてもよかったのではないか」という指摘もいただいた。「主体的、対話的で深い学び」を目指して、グループで情報を共有し、意見を伝え合い、自身の考えを深められるような授業を目指していきたいと感じた。

Ⅳ　おわりに

この研修を通して指導主事の先生方に指導していただいたことや、他の先生方から指摘していただいたことを踏まえて10月に研究授業を行ったところ、改善が感じられた部分もたくさんあったが、新たに課題となった点もあった。今後もまた、多くの文献を読み、先生方の授業を参観させていただき、研修に参加し、日々の授業で試行錯誤を繰り返して、授業改善に勤しみたい。

「学ぶことは楽しい」と、研修が終わるたびに感じる。今後も周りの先生方をよく見ながら、指導を仰ぎながら、自身を向上させることを楽しんでいきたい。